



和だより

弟子屈町立和琴小学校

10月29日 発行者 校長 渥美清孝

～学校と家庭と地域で子育てする和琴小～

■学校教育目標

よく考え正しく判断できる子 (知)

強い心と体でやり抜く子 (体)

優しい心で助け合う子 (徳)

言葉遣いと心遣い

校長 渥美清孝

子どもたちの話し言葉を聞いていて、その言葉の丁寧さに感心することがあります。

職員室に入ってくる時には、ノックをして、挨拶をし、用件を述べます。

「失礼します。タブレットを取りに来ました。持って行っていいですか。」

そして、出る時には「失礼しました。」と挨拶をします。

どの子どもこのように礼儀正しいのです。

休み時間や掃除の時間など、他愛のないおしゃべりの時にも、「～です。」「～ます。」を使った話し方が出来る子が多く、大変好感が持てます。

学校に上がって、まだ半年ちょっとの1年生も丁寧な言葉を使おうとしている様子は、微笑ましく、頼もしい気がします。

言葉遣いを考えた時、大切なものとして、「五つの言語意識」と呼ばれるものがあります。

- ①相手意識 (誰に話すのか)
- ②目的意識 (何のために話すのか)
- ③状況意識 (どのような状況で話すのか)
- ④方法意識 (どのように話すのか)
- ⑤評価意識 (話してみてどうだったのか)

これら五つを意識して、言葉を使うことが大切だと言われているのです。

確かに「その通りだ」と納得する反面、いつも全てを意識できるかということ、それはかなり難しいように思います。

道元禅師が書いた『正法眼蔵(しょうぼうげんぞう)』という書籍に「愛語」という教えがあります。

「愛語といふは、衆生をみるにまづ慈愛の心をおこし、顧愛の言語をほどこすなり。」(愛語というのは、あらゆる人びとや動物などの生きものに対して慈しみ愛する心を起こし、心にかけて愛の言葉を口にする事です。)

言葉遣いの理想は、この一言に集約されているのではないのでしょうか。

「相手にとって価値のある言葉か。」

私は、いつもこのように自問自答し、出来ていないことを反省する日々です。

『正法眼蔵』には、次のような記述もあります。

「愛語よく廻天のちからあることを学すべきなり」(愛語には世の中を大きく変える力があることを学ぶべきである。)

人間社会の問題の多くは、人間関係から生じます。そして、人間関係の在り方をより良いもの出来るのが、愛語なのです。

私は、子どもたちの話し言葉を聞いて、この愛語を思い出すのです。

言葉遣いは心遣いなのです。

< 11月の行事 > 下校時刻は、前半が5時間・後半が6時間

日	曜	行 事	下校時刻	給食
1	月	安全点検日 実行委員会	14:20 15:20	○
2	火	ALT	14:20 15:20	○
3	水	文化の日		
4	木	校内発表会 図書館バス	14:20 15:20	○
5	金	会場準備 ALT	14:20 15:20	○
6	土	週休日		
7	日	学習発表会	11:30	
8	月	振替休業		
9	火	学習発表会后片付け ALT	14:20 15:20	○
10	水	全校朝会	14:20	○
11	木		14:20 15:20	○
12	金	クラブ	14:20 15:20	○
13	土	週休日 ニューススポーツ交流会		
14	日	週休日		
15	月		14:20 15:20	○
16	火	ALT	14:20 15:20	○
17	水	避難訓練(地震)	14:20	○
18	木	図書館バス	14:20 15:20	○
19	金	ALT	14:20 15:20	○
20	土	週休日		
21	日	週休日		
22	月		14:20 15:20	○
23	火	勤労感謝の日		
24	水	全校朝会	14:20	○
25	木		14:20 15:20	○
26	金		14:20 15:20	○
27	土	週休日		
28	日	週休日		
29	月		14:20 15:20	○
30	火	ALT	14:20 15:20	○

※昨今の状況から予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。

10月の和っ子

<地域文化体験～親子陶芸教室～>

10月9日(土)に地域文化体験として親子陶芸教室を行いました。講師の先生は、摩周北創窯 美留和焼窯元の林 保男さんです。こどもたちは事前学習を2回行い、1回目にどんな作品を作りたいか考え、2回目には林さんに来ていただき、陶芸作品ができるまでと一人一人の作りたい作品の設計図を見ながら、どんなふうにするか色をどうするかなどのアドバイスをいただきました。当日も林さんは、事前学習で打ち合わせた作品を子どもたち一人一人とお話しながら優しくていねいに教えてくださいました。保護者や先生方も参加し、思い思いの作品を作ることができました。子どもたちは、最後の最後まで作品作りに楽しく、粘り強く取り組む姿が見られました。林さんの温かい人柄を感じながら、粘土をさわり、作品作りに打ち込めた楽しい時間になりました。



<公開研究会>

10月13日(水)に公開研究会を行いました。まず5・6年生の国語の公開授業を先生方、参加者の皆さんで参観しました。5・6年生の3名はそれぞれの課題の解決に向けて一生懸命がんばっていました。途中で6年生児童2名の交流の場面があったのですが、お互いの考えを聞いて、学習が深まったり、新たな疑問が浮かんだりする様子が見られました。また、紙に書いて課題を考える子、タブレットで考える子もいて個別で自分に合ったやり方を選択して学習する姿も見られました。その後の研究協議でも、来られた先生方から良かった点についてのお話やいろいろなアドバイスをいただくことができました。今回の研究会で学んだことを子どもたち一人一人の成長に向けて、生かしていきます。



<収穫祭>

10月15日(木)に収穫祭を行いました。この日に向けて和小的の農園で育てた野菜を材料の中心にして、作りたい料理を決め、作り方を調べて準備を進めてきました。当日作った料理は「ジャガイモの洋風ホイール焼き」「なすとトマトのドリア」「枝豆ベーコンのポテサラ」「まるごと玉ねぎスープ」「かぼちゃのきんぴら」「かぼちゃのパウンドケーキ」「いもち」等です。子どもたちの様子はというと、高学年は自分から主体的に料理作りに取り組んでいました。また、中学年は協力して料理を作ろうとしていました。そして、低学年は楽しくいもち作りに取り組んでいました。楽しく・協力して・主体的に取り組んで作った料理はどれもおいしかったです。また、今年も地域の方にお世話になり無事に和小的農園で野菜を育てることができました。ありがとうございました。



<和琴小・美留和小2校合同修学旅行>

10月21日(木)22日(金)に5・6年生が修学旅行に行ってきました。21日(木)は十勝に到着してさっそくチャレンジランチ(自主研修)を行いました。十勝らしいものを食べることを目的に、自家製チーズや十勝マッシュなどが入ったピザを食べました。ホテルではバイキングでいろいろなものをたくさんおいしくいただきました。部屋での交流では、男子同士、女子同士でそれぞれ大変楽しく過ごしました。2日目はエコロジーパークのフワフワドームで遊び、自転車で園内の散策を楽しみました。ポーヤファームでは、シープドッグショーの後、犬や猫たちとふれあいタイムで癒やされました。足寄動物化石博物館では発掘体験に夢中になり3～4個も発掘していた子もいました。8月の予定が10月に延期になり、少し寒い時期にはなりましたが、その中でもいろいろなことを楽しみ、学び、2校での交流ができた思い出深い修学旅行になりました。

